

学問・歴史・社会—政治的文脈の中の社会科学

講師：佐藤 健太郎（千葉大学法政経学部准教授）
山口 道弘（千葉大学人文社会科学研究科准教授）

法政経学部では社会科学、すなわち法学・政治学・経済学の研究教育を行っています。社会科学は複雑な社会現象を単純な法則で説明し、この法則から社会の未来を予測し、更に進んで規範的提言（「こうすべきだ」）を行おうとする学問領域（「経世済民の学」）です。

今年度の公開講座では、気鋭の日本政治史・日本法制史研究者が明治大正期における社会学者と歴史家に題材を求め、不即不離の関係にある「理論」「政治的文脈」「現実の政治過程」の相互連関から「社会のなかの社会科学」を論じようとするものです。歴史・社会・社会科学に関心をお持ちの多くの皆様のご来聴を心よりお待ちしております。

法政経学部長 酒井 啓子
地域貢献・公開講座委員長 堀田 佳文

<開催日時> 平成28年11月12日(土)14:00~16:30

<開催場所> 千葉大学 西千葉キャンパス
千葉市稲毛区弥生町1番33号
人文社会科学系総合研究棟2階マルチメディア会議室

<受講料> 無 料 (事前申込不要、座席数80席)

<スケジュール>

14:00~14:50 公開講座 講師:佐藤 健太郎 准教授

14:50~15:05 休憩時間

15:05~15:55 公開講座 講師:山口 道弘 准教授

15:55~16:10 休憩時間

16:10~16:30 質疑応答

○主催 / 千葉大学法政経学部

○共催 / 千葉大学法政経学会

/ 千葉大学リーディング研究育成プログラム「未来型公正社会研究」

○後援 / 千葉県教育委員会・千葉市教育委員会

担当講師紹介



東京大学法学部 卒業
同大学院法学政治学研究科修了 博士(法学)
現在 千葉大学法政経学部准教授(専攻 日本政治史)

『法・政・経それぞれの学問的成果を活用し、現在の日本社会が抱える問題を意識しながら、理念をベースにした政治史の構築を目指しています。』

(業績)

- ・『「平等」理念と政治—大正・昭和戦前期の税制改正と地域主義』(吉田書店、平成26年)
- ・「大正期の東北振興運動—東北振興会と『東北日本』主幹浅野源吾」*國家學會雑誌*118巻3・4号(平成17年)



東京大学文学部 卒業
同大学院法学政治学研究科修了 博士(法学)
現在 千葉大学大学院人文社会科学系研究科准教授(専攻 日本法制史)

『我々が思考する際に、その当然の前提について一言及したりしないのと同様、過去の人間の当然の前提も減多には言語化されません。その減多には言語化されない前提的な思考枠組を再構成する事を主たる研究課題にしています。』

(業績)

- ・「南北朝正閏論争と神皇正統記—漢文脈から文明史へ—」*藝林*65巻1号(平成28年)、
- ・「正閏—南北朝正閏論争—」河野有理(編)『近代日本政治思想史』(ナカニシヤ出版、平成26年)



千葉大学までの交通アクセス

- JR総武線「西千葉駅」下車(徒歩約10分)
※西千葉駅には快速電車は停車しません
のでご注意ください。
 - 京成千葉線「みどり台駅」下車(徒歩約10分)
- 自動車での入構はご遠慮ください。